No. 125（平成29年３月１日）

第二学年の生徒が二日間にわたり職場体験学習を行いました。市内五十カ所にも及ぶ事業所等の協力のもと、そこで働く人たちと触れ合い仕事の一端を経験させていただきました。働くことの意義や難しさ、自己の将来について深く考えるきっかけとなりました。（旭川市立中央中学校）

おもな内容

	ページ
随　想	1
研修講座寸描	2～4
出前講座寸描・ギャラリー紹介	5
研究の成果と課題，研究員の実践	6～7
研究協力校の実践	7～8
平成29年度研修講座開催一覧	9
平成29年度講座開設の工夫・お知らせ	10

随想

運動器検診の初年度

上川教育研修センター組合教育委員会
教育長職務代理者　滝山　義之

平成二十六年四月に学校保健安全法の施行規則が一部改正され、従来健康診断で行われていた「座高及び寄生虫卵の有無」が必須項目から外れ、新たに「四肢の状態」が加わり、平成二十八年四月からの学校健診の場で実施されました。運動器検診が導入された背景には、現代の子どもたちの運動機能が二極化され、①過剰な運動にかかわる問題、②運動不足がかかわる問題など、運動器に関するさまざまな課題が増加していることにあります。生涯にわたって、健康な運動機能を維持するためには、成長期から正常な運動器の発育を助けるとともに、スポーツ障害を予防することが重要であり、学校における運動器検診で疾患及び異常を早期に発見し、整形外科的適切な治療を受けることが重要とされています。具体的に運動器検診は、①保護者によるチェック、②担任、保健体育、養護の先生による健康観察、③学校健診時における学校医のチェックの三段階よりなされ、保健調査票に記載される側彎を含む五つの基本的動作を行わせ、異常の有無を判断します。第四十七回全国学校保健、学校医大会では、保護者により約十二％の児童生徒がチェックされ、最終的に二％が整形外科に紹介されたとの報告があります。旭川市の平成二十八年度の集計では、児童生徒　約二三、〇〇〇名の中で、保護者により約七％の児童生徒がチェックされ、学校医が整形外科受診を勧めたのは、〇．六％でした。学校医が要受診と判断する例は、①歩行障害を訴えた場合、あるいは認められる場合、②動作時痛のある場合、③可動域に左右差がある場合、④圧痛がある場合、⑤迷った場合であり、受診勧奨まで行かなくても経過観察とする例が多いようです。小児の運動器疾患の専門家は、小学校では下肢に、中学校では上肢に運動器障害が増加し、その割合は、児童生徒の十五％にみられるとの報告もあり、学校医は年一回の診察であり、担任、保健体育、養護の先生には保護者がチェックした児童生徒を継時的に観察していただく必要があります。運動系のクラブを指導する先生には、特にひじ、肩、ひざなどオーバーユースにならぬよう注意してください。運動器の成熟と成長の途上にある児童生徒に、心身の特性に合わない運動、スポーツの実践は、将来にわたる健康障害を残すこともあり注意が必要です。始まったばかりの運動器検診ですが、児童生徒の健康増進に役立つことを期待しています。

本校では、総合的な学習の時間の活動として「老人養護施設」との交流を年五回実施しています。子どもたちは、お年寄りとの交流を通して思いやりの心をはじめ、様々なことを学ぶことができています。今後もこの交流を継続し、豊かな心を育んでいきたいと思います。（美瑛町立明徳小学校）

センター日誌

11月9日	研修事業拡大会議
11月22日	センター組合議会臨時会
12月13日	センター組合教育委員会会議
12月21日	冬季拡大研究室会議
12月26日	センター運営協議会
12月26日～1月10日	冬季合同所員研修会
1月19日	研究室冬季集中研
2月7日	センター組合教育委員会会議
2月16日	センター研究発表会
3月1日	センター組合議会定例会
3月31日	センターだより第125号発行
4月1日	平成28年度研究紀要第42号発行 平成29年度研修講座開催要項

研修講座寸描

講座の様子から

26　体育科実技　9/28

生徒だけではなく、教員も苦手意識をもってしまう「ダンス授業」について、心をほぐす導入の仕方や扱いやすい動き（フィガー）、ダンスの楽しさ等を改めて学び、大変有意義な研修でした。準備から御指導までありがとうございました。

（美瑛町立美馬牛中学校　中村　隆志）

＝講師＝
小出　高義（北海道教育大学旭川校　准教授）
中村　久乃（東光中　教諭）

27　図工・美術科実技　10/5

鎌田先生の温かい言葉掛けと夢中になって造形活動に浸る子どもたちの姿が印象的な授業でした。学力向上に向けて、五教科が重要視されがちですが、図工・美術の意義や大切さを改めて学ぶことができました。ありがとうございました。

（旭川市立愛宕東小学校　西永　円）

＝講師＝
名達　英詔（北海道教育大学旭川校　教授）
鎌田喜美子（忠和小　教諭）

28　学校・家庭・地域の連携　10/6

学校と家庭・地域が手を取り合い、子どもを育てていく必要性がよく理解できました。そして、その基盤は人と人とのつながりだと実感できました。また、様々な立場の方との交流も有意義でした。丁寧な御指導ありがとうございました。

（旭川市立啓北中学校　北村　雅俊）

＝講師＝
姉帯美和子（MIW工房コミュニケーションナビゲーター）
尾中　康裕（上川教育局教育支援課社会教育指導班　主査）
井川　健（名寄西小　教頭）
鈴木　創太（上川町教育委員会社会教育グループ　主任）

19　社会科指導　8/4・10/7

初めての参加になりました。本講座を通じ、社会科教育においては、子どもたちから「なぜ？」の問いを引き出し、主体的な学びにつなげることの大切さを改めて学習しました。御指導いただき大変ありがとうございました。

（上川町立上川中学校　高根澤孔明）

＝講師＝
金　玹辰（北海道教育大学旭川校　准教授）
工藤　亘（春光台中　教頭）
伊林　貴志（緑新小　教諭）
佐竹　浩明（光陽中　教諭）

29　国際理解教育　10/11

＝講　師＝
伊藤　文江（神居東中　教頭）
荒井　香織（大町小　教諭）
瀧　繁之（神楽中　教諭）

国際理解とは何か。どのような視点をどうもてばよいのか教えていただきました。午後は、音楽の鑑賞において楽曲を味わう過程で世界を感じ、生徒の興味関心が多岐にわたる素晴らしい授業を見せていただきました。ありがとうございました。
（上富良野町立上富良野小学校　田中　禅）

20　生活科・総合的な学習の時間　8/4・10/12

＝講　師＝
浜崎　成巳（神居東小　教頭）
千葉　重智（北鎮小　教諭）
千葉　茂（北光小　教諭）
松原　昌平（東明中　教諭）

一日目の講義を受講し、二日目に小中一本ずつの授業を参観させていただいたことで、生活科と総合的な学習の時間を進めていくために必要となるポイントを分かりやすく学ばせていただきました。特に、周囲との対話による学びは、私自身も大切にしていきたいものだと改めて感じました。
（士別市立上士別中学校　村上　紫織）

30　音楽科実技　10/12

＝講　師＝
石田　久大（北海道教育大学旭川校　教授）
早坂　昌俊（江丹別中　教頭）
西森　加奈（神居東中　教諭）

研究授業・協議では、感性を豊かに働かせて表現する授業の大切さを改めて学びました。また、講義・実技では、器楽という切り口から貴重な実践例の紹介、地域文化と関わった授業の提案をいただきました。大変ありがとうございました。
（下川町立下川中学校　幅口あす美）

31　保健安全指導　10/14

＝講　師＝
佐藤　栄一（広陵中　教頭）
後藤　晃仁（北星中　教諭）

学校における防災指導について、その意義や意識すべき点など、普段見落とされがちな点を再認識することができました。また、午後からは、災害時の避難行動を考えるＩＣＴを活用した授業で、分かりやすく、とても勉強になりました。
（愛別町立愛別中学校　鴻上　貴）

32　ミニ道研Ａ　10/27

＝講師＝
泉　大吾（北海道立教育研究所 企画・研修部　主査）
益子　忠行（北海道立教育研究所 企画・研修部主任研究研修主事）

次期学習指導要領のねらいやアクティブ・ラーニングの視点など、多くの情報を得ることができました。自校の教育課程の編成・実施における課題の把握、実効策の検討の演習は、教育課程編成に必要な視点や力を養う機会となりました。
（上富良野町立上富良野中学校　長井　祐之）

33　ミニ道研Ｂ　10/28

＝講師＝
西埜　聡明（北海道立教育研究所 研究・相談部　研究研修主事）
上野　昌生（北海道立教育研究所 研究・相談部　研究研修主事）

「いじめ未然防止モデルプログラム」を用いて自校の取組の方向性を見出すことができました。また、原因を追究せず未来に目を向ける「解決志向アプローチ」の考え方を、参加者同士で実践しながら楽しく学ぶことができました。
（富良野市立東小学校　辻　鋭）

34　書に親しもう　1/10

＝講師＝
小嶋　康博（愛宕中　校長）

全くの初心者で参加しましたが、形にとらわれず自由に、リズムが大切、と講師の先生の「ほめる」、「楽しい」指導に助けていただきました。和やかな雰囲気の中であっという間に時間が過ぎ、最後は皆さんの素敵な作品に癒されました。
（鷹栖町立鷹栖中学校　松原　泰子）

35　絵に親しもう　1/10

＝講師＝
戸澤　美咲（忠和中　教諭）

絵の具を使って偶然できた色や形に驚きながら、時間を忘れて制作を楽しむことができました。同じ技法を使っても、一つとして同じ表現がなく、授業で実践し、子どもたちがどんな表現をするのか見たくなりました。ありがとうございました。
（旭川市立東町小学校　中明　千紘）

出前講座寸描

樹海小学校「体育科指導（ダンス）」　9/21（水）

【講師：牛田　美也子（陵雲小　教諭）】

講話の中で、授業づくりの留意点や子どもたちへの言葉掛けについてなど、具体的に教えていただき、これからの指導に生かすことのできる実り多い内容となりました。実技もしていただき、職員一同楽しみながら学びを深めることができました。

（富良野市立樹海小学校　吉澤　賢吾）

上教研北部地区研究会算数・数学班「算数・数学科指導」　10/5（水）

【講師：千葉　雅樹（嵐山中　教頭）】

アクティブ・ラーニング、今、教員に求められる資質能力…。講義の中で出てきた、現在何かと考えさせられることのヒントは身近にあった。そう考えると、講義で元気付けられた感じがしました。実践的なことも含め、ありがとうございました。

（音威子府村立音威子府中学校　梅本　典利）

西神楽中学校「道徳教育の充実」　10/25（火）

【講師：則末　俊介（永山中　教諭）】

道徳教育の充実に向けて、今後の指針、多様な方策の例示など目の前にある課題を明確に示唆していただけたことにより、今すべきこと、考えていかなければならないことを見付けられました。御指導ありがとうございました。

（旭川市立西神楽中学校　大野　恒裕）

多寄小学校「小学校外国語活動」　11/15（火）

【講師：木下　貴義（永山南小　教諭）】

外国語活動について、実践的なアクティビティを体験することで、児童が意欲的に活動するための方策について考えることができました。今後の授業づくりに生かしていきたいと思います。御指導ありがとうございました。

（士別市立多寄小学校　野口　美保）

士別南小学校「生徒指導（構成的グループエンカウンター）」　11/21（月）

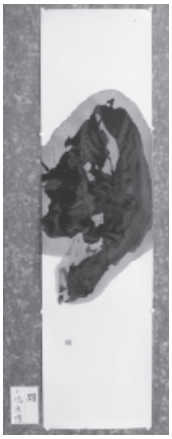
【講師：井上　重美（北海道公立学校SC）】

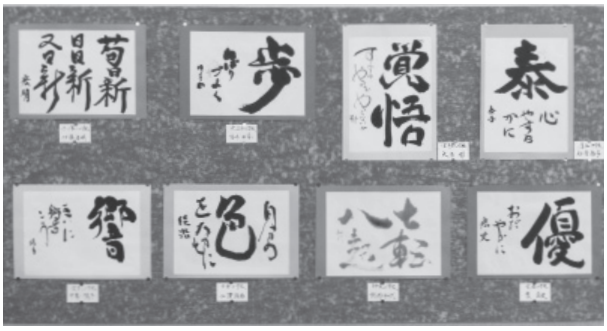
今回の研修を通して、子どもたち同士でよいところを発見するための方法を増やすことができました。特に「こころの花束」という演習が心に残りました。「ありがとう」を言葉にする恥ずかしさと大切さを感じることができました。

（士別市立士別南小学校　名波　大地）

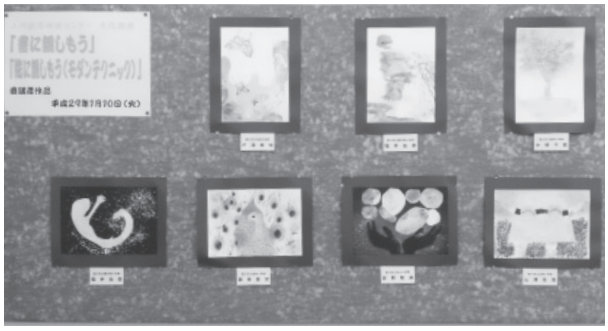
ギャラリー闡（せん）の，御利用について！

当研修センター１階の第２研修室は，各学校や団体で制作した作品を展示し，多くの方に鑑賞していただくギャラリーとして御利用いただくことができます。御希望の方は，事務室までお申し込みください。





「書に親しもう～毛筆で心を伝える作品制作」
講座の作品
１月10日（火）　制作



「絵に親しもう～モダンテクニックを使って」
講座の作品
１月10日（火）　制作

研究室だより

今、研究室では

第一六次研究　三年次

研究主題「学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方」

～思考力・判断力・表現力を育む指導と評価～

上川教育研修センターでは，理論研究と実践検証を行った結果，3年次は，次のような成果と課題を明らかにすることができた。

成　果

① 各年度で「3段階の言語活動」「思考の明確化」「対話による思考の共有化」というキャッチフレーズを設定したことにより，センターの主張を明確にして発信することができた。

② 思考力・判断力・表現力を高めるために教師のねらいと手立てを明確に示すことにより，確かな学力を育成する授業を構築することができた。

③ 協力校への日常的なサポートや公開研究会，センター発表会における討議の仕方を工夫し，新たな仮説検証のスタイルを示すことができた。

課　題

① 次期学習指導要領への移行期を踏まえ，授業構築の手順を丁寧に見直し，その手法を発信する必要がある。

② 新しい時代に生きる子どもを育成するためには，自立した個の学びと協働的な集団の学びの両面から研究を進める必要がある。

詳細は，3月発刊の研究紀要第42号を御覧ください。

研究員の実践

～思考の共有化を図りながら、表現力を高める授業の工夫～

鷹栖町立鷹栖中学校二年　英語科

～読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して、まとまりのある文章を考える学習～

授業者　齊藤　悦代

一　本時の目標

本時の目標を「文章構成の工夫や、接続詞を用いるなどの表現の工夫をして、まとまりのある文章を書くことができる。」と設定した。思考の流れが見える学習シートの活用やALTとJTEの対話をモデルとして提示することにより、生徒に話合いの進め方をイメージさせ、本時の目標に迫りたいと考えた。

二　集団思考における「思考の共有化」に関わる教師の手立て

条件①【話合いの目的や明確なゴールの設定】

記事の内容をよりよくすることを話合いの目的として、Writing Tips の活用に着目させた。また、ALTとJTEによる対話を通して表現の改善例を示し、ゴールを理解させることができた。

条件②【互いの考え方の理解や違いの見える化を促す工夫】

個人の考えが見えるワークシートと、グループの話合いの結果が見えるワークシートを活用した。個人思考で考えた文章を比較し、表現のよさを取り入れながら表現を深めていくことができた。

条件③【集団思考に最適な場の設定】

コミュニケーション能力の高い生徒を各グループに配置し、リーダーとして話合いを進行させた。リーダーを中心に、話合いに適切な表現を用いて英語でやりとりしようとする姿が見られた。

三　本時の成果と課題

考え方の見える化を図ったワークシートの活用や、リーダーを中心としたグループでの対話を通して、思考の共有化を図ることができた。英語でやりとりしながら思考を深めさせるために、適切な学習課題の設定や、用いる英語表現の精選、モデル提示が必要である。

研究員の実践

～半具体物を用いて被加数分解の意味を考えさせる授業の工夫～

旭川市立大有小学校一年　算数科

～数を分けた図や半具体物の操作を通して加数分解や被加数分解の加法計算の仕方を理解する学習～

授業者　馬場　大輔

一　本時の目標

本時の目標を「一位数＋一位数で繰り上がりのある加法を被加数分解で計算する仕方を考えることができる。」とし、ブロックの動かし方を考えたり、加数分解と被加数分解の違いを考えたりすることで、本時の目標に迫りたいと考えた。

二　集団思考における「思考の共有化」に関わる教師の手立て

条件①【話合いの目的や明確なゴールの設定】

集団思考の前半と後半で、話合いの目的をスモールステップで設定したことにより、何を考えたらよいのかを明確にして学習を進めることができた。

条件②【互いの考え方の理解や違いの見える化を促す工夫】

加数分解と被加数分解の計算の式に「さくらんぼ図」をかいたものを並べて板書し、違いを捉えやすくした。また、加数分解と被加数分解のブロック操作の跡が残るような板書をしたことで、被加数分解の計算の意味を捉えることができた。

条件③【集団思考に最適な場の設定】

前時の加数分解との違いを考えるときにペア学習を設定したことにより、短時間で違いに気付くことができ、考えを表出させたことで、考えを深めることができた。

三　本時の成果と課題

板書で前時との違いを見える化することは、本時の学習を理解することに有効であることが分かった。ただ、一人の誤った考えが、他の児童の思考を混乱させる場面があった。誤答を利用したり、誤答が出ないようにしたりする工夫が課題となった。

協力校の実践

～想像を広げながら読むための「小まとめ」や「動作化」などの工夫～

当麻町立当麻小学校二年　国語科

～登場人物の行動を中心に場面の様子を想像しよりよい音読の仕方を考える学習～

授業者　高田　裕輔

一　本時の目標

本時の目標を「読み取った登場人物の様子や気持ちを基に、音読の仕方を『読み方ボックス』から選ぶことができる。」とした。様子や気持ちを読み取るために動作化をさせたり、児童の力でまとめを行うために、一度小まとめをつくらせたりして、本時の目標に迫りたいと考えた。

二　集団思考における「思考の共有化」に関わる教師の手立て

条件①【話合いの目的や明確なゴールの設定】

「じいさまとばあさまの気持ちを読み取る」というゴールに迫る手立てとして、「動作化」をさせたことで、登場人物の様子や気持ちを読み取ることができた。また、「小まとめ」をしたことで、児童自身でまとめを考えることができた。

条件②【互いの考え方の理解や違いの見える化を促す工夫】

課題に対するグループごとのまとめをホワイトボードに書かせたことにより、班ごとのまとめを比較することができた。

条件③【集団思考に最適な場の設定】

ペアでの話合いを設定したことにより、贈り物を見たときのじいさまとばあさまの気持ちを捉えることができた。

三　本時の成果と課題

本校独自のスタイルで取り組んできた「動作化」「小まとめ」などの取組は、思考の共有化のための手立てとして有効であった。今後は、根拠を明確にして「小まとめ」を決めていけるとよい。

協力校の実践

～多様な考えを基に、思考と表現を促す板書の工夫～

旭川市立北鎮小学校二年　算数科
～乗法の意味について理解し、それを用いることができる学習～

授業者　松尾　留実

一　本時の目標

本時の目標を「一つの数の求め方について、図を多様な見方で分割し、九九を使って考えることができるようにする。」とした。本時の学習問題では、図を分割し、同じ数ずつのまとまりを作ることから立式し、多様な方法で答えを求める中で、本時の目標に迫りたいと考えた。

二　集団思考における「思考の共有化」に関わる教師の手立て

条件①【話合いの目的や明確なゴールの設定】

集団思考の方向付けを図るために、「まとまりと式のつながり」に注目させた。その結果、本時の学習全体を通して、「まとまり」という言葉をキーワードとし、問題解決に臨むことができた。

条件②【互いの考え方の理解や違いの見える化を促す工夫】

集団思考で取り上げた多様な考え方について、発言やつぶやきから「数のまとまり」「図とのつながり」などが一目で分かるように板書にまとめた。視覚的に比較しやすいことで、考えの同じところや違うところへの気付きにもつながった。

条件③【集団思考に最適な場の設定】

二年生という発達の段階から、ペア活動において、全員が自分の考えを一度、図や言葉などで表現することで、思考を整理したり、まとまりと式のつながりについて再確認したりすることができた。

三　本時の成果と課題

本実践を通して、板書による「思考の見える化」を図ることで、一人一人の思考と表現を促すことができた。また、ペア学習は、どの場面で、何を交流させるのかを事前に検討することが大切であることに改めて気付いた。

協力校の実践

～動画や学習プリントを活用して、視点を明確にした対話を促す工夫～

旭川市立西神楽中学校一年　保健体育科
～技の行い方や組み合わせ方に着目して、運動についての思考力を高める学習～

授業者　五十嵐　敬

一　本時の目標

本時の目標を「一連の流れでよりよく演技するための運動の行い方を考えることができる。」と設定した。iPad の遅延動画を活用しながら、習熟度別グループでの対話を促し、本時の目標に迫りたいと考えた。

二　集団思考における「思考の共有化」に関わる教師の手立て

条件①【話合いの目的や明確なゴールの設定】

動画を活用して、運動課題の見付け方や仲間へのアドバイスの具体例を確認させた。話合いの目的を明確にすることで、よりよく演技するための運動の行い方について対話を深めることができた。

条件②【互いの考え方の理解や違いの見える化を促す工夫】

仲間からのアドバイスが書かれた付箋を学習プリントに貼り付け、まとめさせた。運動の行い方を整理する場面で、自分と仲間の考えを振り返りながら練習のポイントを整理することができた。

条件③【集団思考に最適な場の設定】

交流を円滑に行わせるために、技のレベルに応じた習熟度別のグループ編成を行った。また、iPad の遅延動画アプリを用いて運動分析を効果的に進めたことで、活発に話合いを行うことができた。

三　本時の成果と課題

対話を通して、自分では気付くことができない運動課題や課題解決の方法についての思考を深めさせることができた。技能を高める学習と思考力を高める学習のバランスを考えながら、効果的に集団思考を取り入れることが必要である。

平成29年度　上川教育研修センター開催予定講座

番号		講座名	期日	研修内容の概要（上段：講座名　　下段：平成29年度の重点テーマ）	授業
1		いじめ・不登校	5/9	一人一人を大切にし，「いじめ・不登校」を未然に防ぐ指導 「『いじめ・不登校』の予防と対策の在り方」～ピア・サポートプログラムの実践～	
2		特別支援教育	5/10　① 6/9　②	個別の教育ニーズに応える多様な指導の充実を図る特別支援教育 「障がいのある児童生徒の生きる力を育む学習指導と評価の在り方」（②で授業研究）	小・中
3		学級経営	5/11　① 10/13　②	児童生徒一人一人が自己実現を実感できる学級経営 「家庭や地域社会との連携を重視した学級経営」（②で授業研究）	小・中
4		読書活動	5/16	児童生徒の主体的，意欲的な「読書活動」の推進 「児童生徒が進んで読書に取り組むための工夫」（授業研究あり）	小
5		学校経営Ⅰ	6/7	変化の激しい時代に対応した学校経営（学校経営Ⅰ）　※採用２年目以降の校長が対象 「新時代を切り拓く創意ある学校経営の在り方」	
6		学校経営Ⅱ	6/8	確かなリーダーシップを発揮する学校経営（学校経営Ⅱ）　※昇任２年目以降の教頭が対象 「スクールリーダーとしての教頭の在り方」	
7		書写実技	6/15	日常に生きて働く書写力を育てる書写実技 「硬筆と毛筆を関連させ，日常に生かす態度を養う学習指導」（授業研究あり）	小
8		小学校外国語活動	7/4	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む小学校外国語活動 「小学校外国語活動の指導体制の工夫や授業研究」（授業研究あり）	小
9		複式教育	7/12	主体的・創造的に学び，生きる力を育む複式教育 「主体的な活動を促す指導と評価の在り方」（授業研究あり）	小
10		国語科指導	7/27　① 9/5　②	言語活動の充実を図る国語科指導 「言語活動の充実を図る国語科指導の工夫･改善(「読むこと」における指導)」（②で授業研究）	小・中
11		幼小連携教育	7/27	小学校への滑らかな接続を目指す幼小連携教育 「連携・交流活動と学びの連続性」	
12		算数・数学科指導	7/28　① 8/31　②	考える楽しさと学びの深まりを実感できる算数・数学科指導 「進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる授業の在り方」（②で授業研究）	小・中
13		外国語科（英語）指導	7/28　① 9/4　②	コミュニケーション能力の基礎を養う外国語科（英語）指導 「外国語表現の能力や外国語理解の能力を高める指導の充実」（②で授業研究）	中・小
14		学校事務実務	8/1～2	教育活動の円滑化を図る学校事務実務 「学校事務における今日的課題～教育予算における現状と今後の課題」	
15		生徒指導	8/1　① 9/6　②	児童生徒の自己指導能力の育成を目指す生徒指導 「生徒指導における円滑な接続を図る小中連携の在り方」（②で授業研究）	中・小
16		理科指導	8/2　① 8/29　②	科学的な思考力・表現力を育てる理科指導 「『地球』領域の科学的な見方や考え方の育成」（②で授業研究）	小・中
17		道徳教育	8/3　① 8/29　②	道徳的実践力を育成する道徳教育 「道徳の教科化を見据えた指導と評価」（②で授業研究）	小・中
18		社会科指導	8/3　① 10/6　②	社会的な見方や考え方を養う社会科指導 「社会的事象の意味を考え，表現する力を育てる指導の工夫（言語活動）」(②で授業研究)	小・中
19		学校力向上対策	8/4	今日的な教育課題の解決を図る学校力向上対策 「未来を切り拓く力を育むキャリア教育の充実」	
20		生活科・総合的な学習の時間	8/4　① 10/12　②	体験と表現が連動する生活科・共同して探究する総合的な学習の時間 「『生活科』及び『総合的な学習の時間』の充実を求めて」（②で授業研究）	小・中
21		教育講演会	8/8	講師　　柳沼　良太　氏　（岐阜大学大学院教育学研究科　准教授） 演題：「これからの道徳教育～考え議論する道徳授業～」＊詳細は４月配布の開催要項を御覧ください	
22		ＩＣＴ活用	8/23	授業改善に生かすＩＣＴ活用 「ＩＣＴを効果的に活用した学習指導の在り方～各種機器の基礎的な活用方法」(②で授業研究)	小
23		技術・家庭科実技	8/23	生活をよりよく工夫しようとする実践的な態度を育てる技術・家庭科実技 「材料と加工に関する技術」（授業研究あり）	中
24		学級活動	8/24	望ましい人間関係とよりよい生活を築く学級活動 「『日常の生活や学習への適応及び健康安全』の指導の充実」（授業研究あり）	小
25		体育科実技	9/6	運動に親しむ基礎を培い，体力の向上を図る体育科実技 「体つくり運動，ゲーム・ボール運動」（授業研究あり）	小
26		音楽科実技	9/7	感性を豊かに働かせて表現する音楽科実技 「音楽の特徴や曲想の違いを感じ取る指導の工夫」（授業研究あり）	小
27		校内研修	9/20	年度の重点目標の具現化を目指す校内研修 「校内研修の成果と生かし方」（授業研究あり）	小
28		図工・美術科実技	10/4	感性を働かせながら，豊かな情操を養う図工・美術科実技 「基礎的な能力を伸ばし，豊かな情操を養う学習指導（絵や彫刻など）」（授業研究あり）	中
29		学校・家庭・地域の連携	10/5	子どもたちの生きる力を育むための学校・家庭・地域の連携 「地域・学校が協働して子どもを育む実践（コミュニティ・スクール）」	
30		保健安全指導	10/12	生命尊重と，豊かな心を育む保健安全指導 「児童生徒の心の発達と支援の在り方」（授業研究あり）	小
31		国際理解教育	10/13	国際社会で主体的に生きていくための資質や能力を育てる国際理解教育 「国際理解教育の実践の工夫（学校や地域の実態に応じた指導）」（授業研究あり）	小
32		ミニ道研Ａ	未定	北海道立教育研究所によるコース別研修 〇現在、内容等調整中　詳細は4月配布の開催要項を御覧ください	
33		ミニ道研Ｂ	未定	北海道立教育研究所によるコース別研修 〇現在、内容等調整中　詳細は4月配布の開催要項を御覧ください	
34		書に親しもう	1/9	豊かな表現で書に親しむ文化講座 「心に残る言葉を題材にした小作品づくり」（午前　半日日程）	
35		絵に親しもう	1/9	豊かな表現で絵に親しむ文化講座 「水彩画で心を伝える作品制作」（午後　半日日程）	
36		センター研究発表会	2/6	「深い学びを実現する学習指導の在り方」に関する第17次３か年計画の１年次の研究を発表～センター研究員の実践，研究協力校の実践～	
パソコン実技	A	１校務のための表計算入門	7/10，11/10	成績や会計をはじめ，さまざまな校務に応じた表計算ソフトの基本的な操作について（初心者向け）	
		２校務のための表計算入門／個別課題解決	7/31	日常で使用しているデータなどで困っていることを個別に解決する講座（初心者向け）	
	B	１校務のための表計算活用	8/1，11/14	成績や会計をはじめ，さまざまな校務に応じた表計算ソフトの便利な活用について（中級者向け）	
		２校務のための表計算活用／個別課題解決	1/10	日常で使用しているデータなどで困っていることを個別に解決する講座（中級者向け）	
	C	学校Ｗｅｂサイト作成とＷｅｂ用画像処理	7/11	ホームページビルダーを使用した学校ウェブサイトの作成の仕方や画像処理について	
	D	学校で役立つプレゼンテーション	9/8	授業や各種発表会で効果的に活用するプレゼンテーションソフトについて	
	E	学校で役立つ動画編集と動画のための画像処理	12/27	LoiLo Scope2による動画編集とその機能や効果を生かすための画像処理について	
	F	学校で役立つタブレットＰＣ入門	6/12,8/2,12/26	タブレットＰＣの基本的な操作や，授業で役立つアプリの紹介について	
	G	学校で役立つタブレットＰＣ活用	8/9，1/11	タブレットＰＣを授業や校務で効果的・効率的に活用する方法について	

～正式な日程は，４月にお届けする「研修講座開催要項」で御確認ください。～

平成29年度の講座開設の工夫

（1）第15次推進計画の基本方針に添い，教職生活全般を通じた教職員等の資質能力の総合的な向上を目指す講座運営をする。

（2）教育経営研修では，教職生活の各段階で求められる専門性の基盤となる資質能力の充実を目指す講座を開設する。

（3）教育指導研修のうち，「幼小連携教育」講座では，小学校との滑らかな接続を図り，学びの連続性を重視する。

（4）教育課題研修では，多くの今日的教育課題に対応するため，年度ごとに課題を設定する「学校力向上対策」講座を継続し，３年次は，「未来を切り拓く力を育むキャリア教育の充実」をテーマとする。「教育講演会」は，今日的教育課題解決を目指し，夏季休業中に開設する。

（5）教科等指導研修では，小中間の連携を図るため，各校種合同で理論研修を行うとともに小中それぞれの授業研修を行う。また，「学校・家庭・地域の連携」講座では，コミュニティ・スクールを重点化する。

（6）教科実技研修では，研究授業を重視する。また，「ＩＣＴ活用」講座の充実を図る。

（7）パソコン実技研修では，「タブレットＰＣ講座」を入門と活用に分けて開設するとともに，個別課題解決など受講者のニーズに応えられる講座を開設し，複数講師による少人数指導で対応する。

（8）北海道立教育研究所と連携し，「ミニ道研」を開催する。

（9）期限付教員の指導力向上のため，各講座への積極的参加を勧める。

(10) 講座開設情報は，開催要項に加え，「センターだより」，Webサイト，電子メールによる講座案内等により広く提供していく。

(11) 講座運営に関する各種資料，関係図書の利便性を図られる資料室の充実に努める。

利用上のお願い

会場の利用にあたっては，右記の時間内での使用を守っていただくようお願いいたします。

貸室使用料（一般）

（教職員等，「承認団体」が研修等で利用する場合は，下記金額の半額）

室　名	午 前（9～12時）	午 後（13～17時）	夜 間（18～21時）
講　堂	2,700円	3,020円	4,320円
講 堂　A・B	1,350円	1,510円	2,160円
研修室／会議室	1,080円	1,290円	1,830円
和　室	540円	640円	860円

☆冬期は暖房料，夏期は冷房料が加算されます。

（研修センター事務室にお問い合わせください。）

室　名	午 前（9～12時）	午 後（13～17時）	夜 間（18～21時）
講　堂	1,080円	1,290円	1,620円
講 堂　A・B	540円	650円	810円
研修室／会議室	540円	640円	860円
和　室	320円	320円	320円

発行日　平成二十九年三月一日
発行　上川教育研修センター
〒〇七〇－〇〇二六
旭川市六条通四丁目
電話（〇一六八）二四－二五〇一
責任者　小谷要次
印刷所　東信印刷株式会社

※この用紙は再生紙（古紙70％）を使用しています。